

第2回 義務教育学校開校準備委員会【議事要旨】

令和2年11月24日 18時

山村開発センター 研修室

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 協議

(1) 開校に向けた準備について【シート①】

○資料について（説明）

- ・資料1については、前回（第1回）準備委員会の議事要旨。
- ・資料（2）小中学校の令和2年度学校経営方針。
- ・資料（3）日野町振興基本計画〔第Ⅲ期〕の案。教育課程検討委員会第2回については、これらの資料をもとに教育目標について協議。「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成」を案として事務局へ提出。
- ・シート①については、第1回準備委員会で協議した項目と、案を整理したもの。案については、第1回準備委員会後に寄せられた案や意見、校舎建築検討委員会の実施したアンケートから関わるものを抜粋して整理した表。これをもとに各項目について方向性を決めていく。
- ・資料5は、小中学校の校章やそこに込められる思い、校歌等についての資料。

以下協議内容（一つの項目に対し長時間の協議、たくさんの意見が交わされたが、要旨ということで、主だったものや決定の経緯が分かるものを抜粋してまとめています。）

<表示／「・」…協議内でのご意見 「◎」…今後の方向性>

【校名の公募方法について】

- ・様々な項目について検討を進めなければならないが、特に「校名」、「校章」、「校歌」のあたりは優先して決定方法を決めなければ他のものも決まっていけない。
- ・今回の委員会では、「校名」の決定方法やスケジュールについて決定する。「公募」という意見が多かった前回だったが、公募の範囲や仕方、スケジュール等についても検討。
- ・町外（例えばインターネット等）も含めた公募となると、町外の人（日野町とは関わりのない人）の発案が採用されることも考えられる。ということも検討が必要。町内限定でもよいのかもしれない。
- ・全国には日野町出身者の方や、ゆかりのある方も多くいらっしゃると思われる。そういった方々にも声をかけるべきでは？
- ・日野町に縁もゆかりもなければ送ってはこれない可能性も考えられる。
- ・日野町で働いている町外の方々も多くいらっしゃる。

◎公募の中に「日野町とどのような関わりがあるのか」という項目を入れる。

◎町内向けには広報等。町外向けにはホームページなどのインターネット。ラジオ放送。中海テレビ放送。報道、メディア（新聞等）

【校名公募の表彰、副賞、賞金等について】

◎表彰については、賞状と日野町の特産品とか日野町の何かを副賞としてつける。

【校名決定に向けたスケジュールについて】

- ・校名については、2月末決定を目指したい。最終決定は議会に上程し「議会承認」。
- ・第1回にも出ていた「制定委員会」を設置して決定しては？
- ・この委員会「開校準備委員会」の「設置要綱」「所掌事項」に「校名の制定に関わること」と規定している。解釈の仕方もあるが、新たな会を設置することは厳しい。
- ・学校運営協議会代表委員は地域の代表という位置づけもある。学校関係も地域も一緒になった委員会。（本委員会の捉え）
- ・パブリックコメントについては、必要の有無について公募の様子（提出数）等も見た上で検討すればよいのでは？
- ・パブリックコメントが入るとタイトなスケジュールがさらにタイトになる。ここ（準備委員会）でああだこうだ言う時間をしっかりとって責任をもって聞けばよいのではないか。
- ・この会（準備委員会）で最終決定するにしても、外部からの意見を取り入れておいた方がよいのかなと考える。
- ・各代表が集まっての委員会なので、代表として来ている以上それぞれの団体の意見も十分反映させたいと考えたい。

◎流れ…公募→事務局でまとめる→委員に配布→各団体（学校運営協議会や単P等）で意見を聞く→第3回委員会で決定→事務局に提出。

◎公募（12月始め～1月始め）→公募一覧表送付→委員で○×チェック→事務局で整理→委員に送付→各団体（2月1週～末）→第3回委員会（2月末）

※委員チェックする時に、委員個人の「イチオシ」も伝える。

◎学校の名前に「込めた思い」についても問う。

【校章・校歌について】

※今回の委員会では、具体案までにとどめ、次回方向を確認したい。

- ・校章、校歌についても基本的には校名と同じような流れでよいのでは。校章に込めた思いや説明等を書いてもらう。
- ・校歌は公募が難しいのではないだろうか。
- ・ある程度のスキルが必要となってくるので、公募は難しいか…。
- ・もし、公募の方向で行くのならば、表彰については校名と同じような扱いでよいのでは。
- ・依頼先についても、日野町のことを知っている方やゆかりのある方がよいのでは。

- ・根雨小校歌をつくられた「生田豊さん」は、「自分はいつも根雨小学校の子ども達を目の前で見ている。その思い、地域や子ども達を愛する気持ちを込めたい。」ということで作詞されたときいている。
- ・源田先生や西岡先生は音楽関係の大学の先生。
- ・「依頼」の場合はそれなりのもの（謝金）等も必要。
- ・作詞に関しては、間口を広くして多くの人から集めてもよいとも思う。それを（その上で）専門の方をお願いする…など。

◎依頼先の候補があれば事務局に伝える。

◎事務局からも広い範囲での依頼先候補をあげてもらいたい。

【その他】

- ・この度取り上げなかった項目については、順次。
- ・資料として「制服」を添付している。こんな資料があるといいというものがあれば事前に挙げてもらいたい。

4. その他

(1) 次回委員会

○日時：令和 3 年 2 月 末ごろ

○内容：校名（案）の制定等について